

日本の救急外来では、米国のように救急医がすべての患者の初診に携わることはまれで、内科系疾患は内科系の医師が救急対応をしている施設が多いのが現状です。「臓器横断的な知識をすべてもっていなければ内科救急に対応できないのか?」という問いの答えは「否」であり、「内科の知識さえもっていれば救急に対応できるのか?」という問いの答えもまた「否」です。

救急対応において最も重要なのは患者の命を失わないこと、すなわち蘇生です。そこで本特集では総論として、救急患者の管理で必須のABCD(気道・呼吸・循環・中枢神経)の維持をまとめます。加えて、致死性の疾患の適切な初期診療ができる能力、致死性の疾患を適切に除外できる診断能力をもつ必要があります。そこで各論では、救急外来でよく遭遇する症候における代表的な致死性の疾患を、非専門医であっても適切にマネジメントできるようにまとめます。また、救急外来で知っておくべき医療の質をより高められる知識をコラムとして取り上げます。

「科学的裏づけのある診療方針とは何か」に加えて「エキスパートは実際にどうしているか」をバランスよく融合し、ERにおける時間軸(クロノロジー)とエビデンスを重視したDecision Makingができるような、実践的な特集を目指します。特に初期研修医〜内科・救急科専攻医の先生方にとって役立つものになれば幸いです。

総論(CPA+バイタルサインに関わる異常)

- 心肺蘇生
- 【ミニコラム①】死亡診断書と死体検案書
- 上気道狭窄/閉塞の評価と初期対応
- 緊急気道管理入門
- 呼吸不全の評価と初期対応
- ERからはじめる人工呼吸器管理とNIV/HFNC
- ショックの初期評価と蘇生
- 出血と輸血戦略
- 意識障害

各論(緊急度と頻度の高い疾患を中心に)

- 頭痛〜くも膜下出血〜
- けいれん〜痙攣性てんかん重積〜
- 【ミニコラム②】非痙攣性てんかん重積(NCSE)
- 呼吸困難〜心不全、閉塞性肺疾患(喘息・COPD)〜
- Killer chest pain〜急性冠症候群、急性大動脈解離、肺塞栓症〜
- 失神〜心原性失神〜
- 【コラム①】カリウム異常(高/低)
- 急性腹痛〜“血管”による腹痛〜
- 【コラム②】代謝性アシドーシス:DKAとAKAを中心に
- 吐血〜上部消化管出血〜
- 【コラム③】低体温
- 発熱〜Sepsis〜
- 【ミニコラム③】外科的介入が必要な感染症

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

●BackNumber

■Vol.1(2013年)

- No.1 ホスピタリスト宣言
- No.2 感染症

■Vol.2(2014年)

- No.1 腎疾患
- No.2 膠原病
- No.3 消化管疾患
- No.4 緩和ケア

■Vol.3(2015年)

- No.1 呼吸器疾患1
- No.2 外来における予防医療
- No.3 循環器疾患1
- No.4 血液疾患

■Vol.4(2016年)

- No.1 代謝内分泌
- No.2 周術期マネジメント
- No.3 腫瘍
- No.4 他科の知識1

■Vol.5(2017年)

- No.1 神経内科
- No.2 呼吸器疾患2
- No.3 感染症2
- No.4 老年科

■Vol.6(2018年)

- No.1 腎疾患2
- No.2 糖尿病
- No.3 肝胆臓
- No.4 心不全

■Vol.7(2019年)

- No.1 外来マネジメント
- No.2 総合内科のための集中治療
- No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて
- No.4 内科エマージェンシー

■Vol.8(2020年)

- No.1 アレルギー

今回は、「はじめに」にあるとおり、いつもとは少し違った「薬剤」という切り口でアプローチしています。項目を吟味していくなかで、各論的に散らばっているテーマが、相互にかかわりあい、ホスピタリストとしてカバーしておくべき不可分な知識の全体像へとまとまっていきました。部分から始まり、フォーカスを変え、視野を横に広げていく見方とあわせて、「現在地」を同定するために必要なもう1つのカギは、時間軸であるといえるかもしれません。主役である薬剤は今後も入れ替わっていくことが予想されます。現在に注目しがちですが、過去から現在をみることも、現在から未来をみるためのヒントになることもあります。「あなたの血栓治療を変える19のヒント」には、そのような意味も込められているはずです。そして、サブタイトルとして念頭におかれていたもう1つは、「過去・現在・未来」というキーワードであったことも是非付記しておきたいと思います。

●広告一覧

医学書院…551, 552	日本医書出版協会…623
医書ジェーピー…582	日本医事新報社…527
金原出版…449	羊土社…592

Vol.7 No.3 2019年9月1日発行〔年4回(3, 6, 9, 12月1日)発行〕

Hospitalist

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話:編集部 03-5804-6056 FAX:編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL: http://www.medsico.jp Eメール: hospitalist@medsi.co.jp
振替: 東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161
広告取扱 メディカルブレーション 電話03-3814-5980
日本医学広告社 電話03-5226-2791
文京メディカル 電話03-3817-8036
福田商店広告部 電話06-6231-2773



9784815700805

(1部)定価:本体4,600円+税
2019年年間購読料:19,008円(4冊,税込,送料弊社負担)

ISBN 978-4-8157-0080-5

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】<出版者著作権管理機構 委託出版物>本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。